

重点	目標・取組	対象	評価指標（設問）	平成27年度			平成28年度			・考察 ※改善	学校関係者評価 学校協議会委員から
				中間	年度末	評価	中間	年度末	評価		
学校経営	☆生命(いのち)が大切にされる	保	本校が目指そうとしている教育内容を知っている。	92	94	A	91	90	A	・どの子ども学校が楽しいと感じられるように、個々の思いを聞き取り、学級経営に反映させた。 ・保護者の教育への関心や満足度が高い。	個々の思いを聞くことは大切なことであり、これからもきめ細かに児童とのコミュニケーションを図ってほしい。
	☆やさしい気持ちがあふれる	教	校長の経営方針に沿った指導を進めている。	92	100	A	100	100	A		
	☆正しく豊かな言葉があふれる	子	学校が楽しく満足している。	87	87	B	94	97	A		
		保	今年度の教育活動に満足している。	98	94	A	96	99	A		
		教	今年度の教育活動に満足している。	100	90	A	93	100	A		
かかわり合って学び、力を付けよう	① 基本的学習習慣の定着	子	授業の内容がよく分かる。	90	96	A	93	95	A	・教師のきめ細かな指導によって、学習内容の定着が図られている。さらに、主体的をもたせたい。  ※児童が学ぶ喜びを実感できるように授業を実践していく。校内研修でも研究の視点としていく。また、参観会等でも積極的に公開していく。	(参観した) 体育館での児童会行事では、児童がしっかりと口調で発表をしていた。学習の成果が表れている。このような表現活動の積み重ねが、「よい社会人」につながっていく。教育機器を有効に使って効果を上げている。
	② 付けたい力を明確にした授業	保	お子さんは、授業の内容が分かりやすいと言っている。	92	91	A	92	91	A		
	③ 言語活動の充実	教	子どもたちは、学習内容を理解している。	92	90	A	94	94	A		
	④ 外国語活動の充実	子	進んで先生に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	89	93	A	94	97	A		
	⑤ 個に応じた支援	保	お子さんは、進んで教師に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	78	76	B	80	77	B		
		教	子どもたちは、進んで教師に聞いたり、自分で調べたりして学習している。	100	80	B	81	94	A		
		子	先生は、自分のことを理解して教えてくれる。	96	93	A	98	97	A		
		保	教師は、きめ細かな指導にあっている	96	94	A	99	97	A		
		教	個に応じたきめ細かな指導をしている。	85	90	A	100	100	A		
		地	教師は、きめ細かな指導にあっている。	100	100	A	100	100	A		
やさしさ、思いやりの気持ちを大切にしよう	① 子ども理解の充実	子	あいさつや返事がよくできている。	94	93	A	94	97	A	・友達を思いやる心や、目標に向かって頑張る気持ちが育っている。あいさつは、他項目と比較して評価が低い。  ※朝の時間(新設するさんさんタイム)に年3回のあいさつ週間を設定し、学校全体であいさつ指導を行っていく。委員会活動が主体となっていて、あいさつがよくできている児童を称揚し、あいさつを広めていく。	向笠小児童は、素直で優しい子が多い。 向笠小学校の北の横断歩道で車を止めたとき、小学生が大きな声であいさつを返してくれて感心した。こういうことができている子を増やして欲しい。 向陽学府の子供たちはあいさつがよくできるほうである。しかし、大人にはあいさつができるが、小中学生同士では、すれちがってもあいさつをしないことがある。指導したい。
	② 異学年交流の充実	保	お子さんは、あいさつや返事がよくできている	93	91	A	90	92	A		
	③ 道徳の充実	教	子どもたちは、あいさつや返事がよくできている	69	80	B	64	50	B		
	④ かがやきコーナーの充実	地	子どもたちは、あいさつや返事がよくできている	88	88	B	88	88	B		
	⑤ あいさつ運動の推進	子	思いやりの心をもったふれあいができている。	95	96	A	97	98	A		
		保	お子さんは、思いやりの心をもったふれあいができている。	95	97	A	99	98	A		
		教	子どもたちは、思いやりの心をもったふれあいができている。	100	90	A	100	100	A		
		子	めあてをもって毎日の生活をがんばった。	87	93	A	92	95	A		
		保	お子さんは、めあてをもって毎日の生活をがんばっている。	95	94	A	93	95	A		
		教	子どもたちは、めあてをもって毎日の生活をがんばっている。	100	90	A	100	100	A		
	子	学校に相談できる人がいる。	89	93	A	90	93	A			
	保	お子さんは、学校に相談できる人がいる。	88	89	B	83	86	B			
	教	子どもは、学校に相談できる人がいる。	100	90	A	93	100	A			
健康な身体をつくろう	① 体力の向上	子	遊びや運動を通して体を鍛えている	93	91	A	92	95	A	・ステージごにめあてをたて、学校体制で手立てを講じたことにより、体力の向上が図られている。生活リズムについては、数値が低い。  ※学校独自の「早く寝よう週間」を定期的に設定したり、懇談会で結果を報告したりして、保護者と協力して意識の高揚を図る。	安心・安全が第一である。引き続き管理、指導に力を入れて欲しい。 携帯・スマホの使用が問題となっている(低年齢化している)。学力の低下や生活リズムの乱れの原因となる。「磐田ルール」があるが、形骸化している。児童の実態を踏まえて対応してほしい。
	② 保健指導の充実	保	お子さんは、遊びや運動を通して体を鍛えている	94	92	A	93	90	A		
	③ 食育の推進	教	子どもたちは、遊びや運動を通して体を鍛えている	92	100	A	100	100	A		
	④ 安全教育の推進	子	早寝・早起き・朝ごはんに気をつけている。	89	89	B	88	84	B		
		保	お子さんは、家庭での生活リズムを大切にしている	81	82	B	83	78	B		
		教	子どもたちは、家庭での生活リズムを大切にしている	75	60	B	93	93	A		
		子	学級(学校)には、互いにルールを守り協力する雰囲気がある。	93	93	A	97	98	A		
		保	学級(学校)には、互いにルールを守り協力する雰囲気がある。	98	96	A	98	96	A		
		教	学級(学校)には、互いにルールを守り協力する雰囲気がある。	92	90	A	93	100	A		

「優しく思いやりのある子に育っている」「教師の指導が行き届いている」と、本校の学校経営目標である「生命(いのち)が大切にされ、やさしい気持ちや正しく豊かな言葉がある学校」に向けた取組を評価していただいた。一方で、あいさつや携帯の使用など基本的な生活習慣やルール・マナーを身に付けさせることについて、要望や助言をいただいた。10年後の社会や子供たちの姿を見据え、子供たちに付けたい資質・能力を見極め、保護者や地域の方との連携を深めながら、生徒指導や授業改善に努めていきたい。